

⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 8 ページ目

最終学歴や高卒認定試験合格履歴などを偽りなく記入

3/8
G-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字4桁）年月月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）又は専修学校の高等課程（修業年限が3年以上のもの）を含みます。（インターナショナルスクールや在外教育施設等を含みません。）

※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。

はい いいえ

「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁）年月

「いいえ」と答えた人にお聞きします。
あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

高等学校卒業程度認定試験合格者
 その他（インターナショナルスクール、在外教育施設等）

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。
あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。

西暦（半角数字4桁）年月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度（16歳になる年度）から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。

はい いいえ

「その他」と答えた人にお聞きします。
あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名（正式名称）とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦（半角数字4桁）年月

直近に卒業又は退学した学校の年月及び学校を選択してください。

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。
(例)
・16歳になる年度：2011年度
・16歳になる年度から5年経過
→2016年4月1日以降
・2016年度、2017年度に高等学校卒業程度認定試験受験（不合格）
・2018年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）
※上記の例では、2016年度又は2017年度に受験していない場合、「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」に該当しないため、申し込むことができません。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 8 ページ目

これまでに日本学生支援機構奨学金を受けたことがある（受けている）場合は記入

3. あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金（原則、返還不要）を受けていますか。（現在支給が終了しているものを含む）

はい いいえ

あなたはこれまでに、日本学生支援機構の貸与奨学金（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか。（現在貸与が終了しているものを含む）

はい いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は貸与額が調整されます。

※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の入力を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

	奨学生番号 1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	削除	追加	
半角数字	例	奨学生番号 1	609	04	999999	削除	追加
	奨学生番号 2	616	08	999999	削除	追加	
	奨学生番号 3	807	01	999999	削除	追加	
	奨学生番号 4	812	02	999999	削除	追加	
	奨学生番号 5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	削除	追加	

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規定にこれ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。

確認しました

C-奨学金申込情報 で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。C-奨学金申込情報 で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。なお、採用取消となったものは入力しないでください。

高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を入力してください。入力を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

同一の学校区分（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校等）で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 8 ページ目

「貸与奨学金記入項目」

「貸与奨学金案内」 21ページ～25ページを参照し、保証制度をいずれかで選択

4/8
H-保証制度
1. あなたが希望する保証制度を選択してください。
 (1) 人的保証
 (2) 機関保証

併願又は併用で申し込み (2/8画面 C-奨学金申込情報にて、(2)、(4)、(5)、(6)、(7) を選択した場合)、かつ2/8画面 F-奨学金貸与額情報にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります(「人的保証」のボタンは押せません)。また、第二種奨学金の保証制度はこの画面で選択します。

4/8
H-保証制度
1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
 (1) 人的保証 (ボタンが押せません)
 (2) 機関保証
所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。
2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
 (1) 人的保証
 (2) 機関保証

給付奨学金のみ希望する人は、入力はありません。

希望する保証制度を選択してください。なお、今回第一種奨学金の貸与を希望し、かつ2/8画面 F-奨学金貸与額情報にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります(「人的保証」のボタンは押せません)。「貸与奨学金案内」も参照してください。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 9 ページ目

自分自身について間違えないように記入

5/8
I-あなたの返還誓約書情報・給付誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

(1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。 ←

(2) あなたの性別を選択してください。(任意) (2)

(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定

(4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)(全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) --

携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字) --

B-誓約欄で入力した姓名が表示されます。

B-誓約欄で入力した生年月日により判定されます。

・あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合は、**住民票住所**の入力が必要です。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※下記の「住所の入力例」参照

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 10 ページ目

8 ページで保証制度を (1) 人的保証を選択した方は、連帯保証人と保証人を2名分を必ず記入

連帯保証人は父母のいずれか

保証人は父母はNG 4 親等以内の65歳未満の親族

2. 連帯保証人と保証人について

あなたに保証制度が適用されています。連帯保証人と保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

※あなた（申込者）が保証人の場合は、連帯保証人には連帯者（保証人ではない）を選ばないでください。
 ※あなた（申込者）が保証人の場合は、次等（兄弟姉妹又はおじ・おば等）にしてください。
 ※保証制度（保証書）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名
 フナ（姓フリガナ）

(b) その生年月日 (b) (年) (月) (日)

(c) あなたの職名

家族以外の方の場合は、その職名

(d) その住所

※連帯保証人の印鑑登録住所（自治体発行）に記載されている住所を入力してください。
 ※印鑑登録住所には住所と別記住所が記載されています。

(e) (郵便番号) (〒) 住所

住所1 (都道府県)

住所2 (市区町村) (全角文字)

(f) その電話番号

※住所の電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(g) (1) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (2) (半角数字)

(h) その勤務先 (1) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字)

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入れてください。

無職

※一戸建て家として入居しているが、その住所に家族がいない場合は、連帯保証人・保証人の選任要件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。

※貸与奨学金申込ホームページ等で作業を進める前にご確認ください。申込書入力時に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に基づき住所が「住所1」に自動入力されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所の続き、あるいは郵便番号以外を入力してください。
 ※2ページの「住所の入力」欄に既定住所と異なる住所を入力している場合は、どちらとも入力してください。

※印等の場合は「世帯等」、職名の場合は「職業」と記入してください。

※無職の場合は「その他」に記入し、その下にチェックを入れてください。

2. 保証人について入力してください。

※あなた（申込者）が保証人の場合は、連帯保証人には連帯者（保証人ではない）を選ばないでください。
 ※あなた（申込者）が保証人の場合は、次等（兄弟姉妹又はおじ・おば等）にしてください。
 ※保証制度（保証書）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓 名
 フナ（姓フリガナ）

(b) その生年月日 (b) (年) (月) (日)

(c) あなたの職名

家族以外の方の場合は、その職名

(d) その住所

※連帯保証人の印鑑登録住所（自治体発行）に記載されている住所を入力してください。
 ※印鑑登録住所には住所と別記住所が記載されています。

(e) (郵便番号) (〒) 住所

住所1 (都道府県)

住所2 (市区町村) (全角文字)

(f) その電話番号

※住所の電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(g) (1) (半角数字)

その携帯電話の電話番号 (2) (半角数字)

(h) その勤務先 (1) (全角文字)

勤務先電話番号 (半角数字)

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入れてください。

無職

※一戸建て家として入居しているが、その住所に家族がいない場合は、連帯保証人・保証人の選任要件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。

※貸与奨学金申込ホームページ等で作業を進める前にご確認ください。申込書入力時に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に基づき住所が「住所1」に自動入力されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所の続き、あるいは郵便番号以外を入力してください。
 ※2ページの「住所の入力」欄に既定住所と異なる住所を入力している場合は、どちらとも入力してください。

※印等の場合は「世帯等」、職名の場合は「職業」と記入してください。

※無職の場合は「その他」に記入し、その下にチェックを入れてください。

未成年の方は、11 ページ 下、親権者（未成年後見人）について入力してください。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 11ページ目

8ページで保証制度を（2）機関保証を選択した方は、自分以外の連絡先を記入

3. 本人以外の連絡先について ←

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

	姓	名
(1) 漢字 (全角漢字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カナ (全角カナ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(2) その生年月日 (2) (和暦) (半角数字) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄 (3)

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

その携帯電話の電話番号 (5) (半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) --

H-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意！「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※9ページの「住所の入力例」参照

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 11ページ目

スカラネット入力時点で未成年の方は、親権者について必ず記入してください。

4. 親権者（未成年後見人）について

あなたは誓約日（B-誓約欄で入力した年月日）時点で成年に達していません。
未成年の場合、親権者（未成年後見人）情報を入力してください。
※親権者とは原則父母です。

(1) 親権者（未成年後見人）1 について

- ・連帯保証人と親権者（未成年後見人）1 が同一である必要があります。
- ・親権者（未成年後見人）1 には連帯保証人欄の入力内容が自動で登録されます。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字（全角漢字）	<input type="text"/>
カナ（全角カナ）	<input type="text"/>

(b) あなたとの関係

未成年後見人の場合は、その続柄

(b)	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

(c) その住所

(c) (郵便番号) (半角数字) -

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(d) (半角数字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その携帯電話の電話番号	(携帯) (半角数字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(2) 親権者2 について入力してください。親権者が1 名の場合は (3) に進んでください。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字（全角漢字）	<input type="text"/>
カナ（全角カナ）	<input type="text"/>

(b) あなたとの続柄

(b)	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

(c) その住所

(c) (郵便番号) (半角数字) -

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(d) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(d) (半角数字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
その携帯電話の電話番号	(携帯) (半角数字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(3) 親権者（未成年後見人）は1 名のみで間違いありませんか。

※親権者とは、原則父母です。

(3) はい いいえ

未成年と判定された場合表示されます。

あなたが成年にも関わらず4が表示される場合や未成年にも関わらず4が表示されない場合

1/8画面B-誓約欄で生年月日の入力間違っている可能性があります。この場合、M-奨学金申込口座情報の次に表示される「奨学金申込情報一覧」で、入力内容を修正してください。

※親権者とは、民法に定められた親権者のことで、あなたが未成年の場合は、原則父母の事です。未成年後見人とは、親権者がいないとき、または親権を行う者が管理権を有しないときに、法定代理人となる人のことです。父母がいない場合は、「給付奨学金確認書」の親権者欄に署名・押印した人の情報を入力してください。親権者についてわからないことがあれば在学校に確認してください。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※9ページの「住所の入力例」参照

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

「親権者2」が未入力の状態で「いいえ」を選択すると入力を進めることができません。親権者が2人いる場合は、親権者1、親権者2の情報を確認・入力し直してください。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 11ページ目

6/8
J-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

児童養護施設入所者等 児童自立支援施設入所者等
児童心理治療施設入所者等 自立援助ホーム入所者等
里親に養育されている（いた）人 ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなた自身は2018年（1月～12月）の所得により住民税を課税されましたか。 はい いいえ

(注) あなた自身の所得の合計額が125万円（額面の収入で200万円程度）を超える場合（2019年1月1日現在で成人している者は所得合計額が35万円（額面の収入で100万円程度）を超える場合）は住民税を課税されます。

(注) 「はい」と答えた人は、課税証明書の提出が必要です。

社会的養護を必要とする人には はい

自分自身が2020年度課税されている場合は はい

育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
(証明書類の例)
施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（里親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」

秋以降に算集があり英字金を申し込む場合は、2018年を2019年に、2019年を2020年に読み替えてください。

11



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 12ページ目

3. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を記入してください。 (1) 人

4. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を記入してください。 (1) ▼ 人

家族の人数は、生計を同一である人数を記入
独立して生活している兄弟姉妹や祖父母は除く

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」12ページを確認してください。

生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

生計維持者は、無職でも、離別・死別などでいない場合を除いて原則父母2名



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 14ページ目

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。

※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計額（不動産は対象としない）。

○はい ○いいえ

6. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ記入してください。（1万円未満切り捨て）

（半角数字）

あなた	<input type="text"/>	万円
生計維持者①	<input type="text"/>	万円
生計維持者②	<input type="text"/>	万円
合計	<input type="text"/>	万円

生計維持者①の続柄が「申込者本人」である場合は、当該欄の生計維持者①及び②は非活性となります。

J-あなたの家族情報の4.にて、父又は母の

5 で「はい」でも「いいえ」でも
6 は必ず記入が必要

申込基準として、申込日時点のあなたと生計維持者の資産額の合計が以下の基準未満である必要があります。

- ・ 生計維持者が2人の場合は2,000万円未満
- ・ 生計維持者が1人の場合は1,250万円未満

対象となる資産については「給付奨学金案内」11ページで確認



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 14ページ目

12ページの「J-あなたの家族情報の4」が、以下の場合、それぞれの箇所を記入

1- 人物関係
 7. 父又は母以外のほかのひと (生計維持者) として記入する者について、次のうち該当するものを記入してください。
 (複数回答可)
 父又は母と別居した。
 父又は母と別居せず、父又は母と別居した。(本人) 扶養対象である。
 ※「養育費」(又は「養育費等」)の記入に当たっては、父又は母に扶養料が支払われる。
 父又は母が、生計を別、別居する、養育費等のため、意思疎通ができていない。
 その他

2- 父母以外
 7. 生計維持者の父母以外のひとを入力した理由について、次のうち該当するものを記入してください。(複数回答可)
 同棲 (父又は母) と別居した。
 同棲 (父又は母) が生計を別、別居する、養育費等のため、意思疎通ができていない。
 扶養 (本人) が扶養を受けており、同棲が保たれていない。生計維持者として扶養料が支払われていない (扶養料が支払われていないが、おたのめ (養) の扶養に入っている)。
 その他

3- 配偶者・同居親類・父母以外
 前項に記述した「J」の家族関係が確認できる証明書類の提出が求められる場合がある。必ず、上記の申告に留意する必要があります。
 はい
 いいえ

家族	生計維持状況
父又は母以外のほかのひと (生計維持者) として記入する場合【共通】	- 養育料/養育費 (配偶者/夫) 控除の適用がつかない場合 - 養育料/養育費 (配偶者/妻) 控除の適用がつかない場合
上記の書類を提出できない場合	
父又は母	- 生計維持者、扶養 - 同居 (扶養料/養育料)
父又は母が別居中	- 生計維持者、扶養 - 養育料/養育費 (配偶者/夫) 控除の適用がつかない場合 - 養育料/養育費 (配偶者/妻) 控除の適用がつかない場合
父又は母がDV被害	- 養育料/養育費 (配偶者/夫) 控除の適用がつかない場合 - 養育料/養育費 (配偶者/妻) 控除の適用がつかない場合
父又は母が生計を別 (扶養料/養育料)	- 養育料/養育費 (配偶者/夫) 控除の適用がつかない場合 - 養育料/養育費 (配偶者/妻) 控除の適用がつかない場合
父又は母が別居せず、養育費等	- 生計維持者 (扶養料/養育料)
扶養料/養育料が扶養料/養育料に支払われている	- 生計維持者、扶養 - 同居 - 養育料/養育費 (配偶者/夫) 控除の適用がつかない場合 - 養育料/養育費 (配偶者/妻) 控除の適用がつかない場合
扶養料/養育料	- 養育料/養育費 (配偶者/夫) 控除の適用がつかない場合 - 養育料/養育費 (配偶者/妻) 控除の適用がつかない場合

4- 生計維持者
 7. 生計維持者の父又は母 (生計維持者) と入力した理由について、次のうち該当するものを記入してください。
 (複数回答可)
 同棲 (父又は母) と別居し、別居する、養育費等のため、意思疎通ができていない。
 同棲 (父又は母) が扶養を受けており、同棲が保たれていない。生計維持者として扶養料が支払われていない (扶養料が支払われていないが、おたのめ (養) の扶養に入っている)。
 扶養 (本人) が扶養を受けており、同棲が保たれていない。
 その他

お書きになった内容について、提出書類が足りない場合があります。上記の申告に留意する必要があります。
 はい
 いいえ

生計維持者を1名の場合

父母以外の人を生計維持者にした場合

生計維持者を1名の場合または
 父母以外の人を生計維持者にした場合
 「はい」「いいえ」で記入

生計維持者を自分自身と入力した場合



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 15ページ目

就学者と就学前の兄弟姉妹の人数を記入

8. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の弟妹の人数を合せて記入してください。(1) 人

(2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

続柄	姓	名	学校設置者	在学している学校	通学別
▼			▼	▼	▼
▼			▼	▼	▼
▼			▼	▼	▼
▼			▼	▼	▼
▼			▼	▼	▼
▼			▼	▼	▼

9. その他の家族（「生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族）を記入してください。（あなたを除く）

続柄	姓	名	年齢
▼			
▼			
▼			
▼			
▼			

には表示されません。

就学者とは、小・中・高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程）、大学（短期大学・通信制・専攻科・職業技能別科を含む。）、大学院に在学する人のことです。科目履修生、上記以外の別科生、聴講生、研究生、予備校生、一般課程の専修学校生、各種

(1) で記入した人数の内訳を記入

あなたを除く就学者及び就学前の弟妹について入力してください。学校設置者とは、国立・公立・私立の別のことです。通学別とは、自宅通学・自宅外通学の別のことです。

自分・生計維持者・(2)の人以外の同一生計者を記入



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 15ページ目

「貸与奨学金記入項目」

年間授業料はこちら

K-特記情報

- あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。 1. 万円
- あなたの家族は母子または父子家庭ですか。 2. はい いいえ
- 家族の中に障害のある人（常に就床を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。
「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。 人
- 主に生計を維持している人が単身赴任等で別居していますか。
「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。 万円
- あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。
「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。 万円
- この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。 6. はい いいえ
「はい」と答えた人は、支出の増加または 収入の減少があるか選択してください。 はい いいえ
「はい」と答えた人で、長期（2年以上）にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。 支出の増加 万円
収入の減少 万円
- 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。 ▼

2019年度以降の入学者の授業料			
学科	授業料	学科	授業料
写真	111万円	映画	114万円
音楽		放送	
演劇	104万円	美術	110万円
文芸		デザイン	
2018年度以前の入学者の授業料			
全員	102万円		

2. 父母のいずれか1人と18歳未満の子（就学者は18歳以上でも可）の世帯（60歳以

2. 以降は、必要書類⑥で準備した「Ⅲ.特別控除に関する証明書類」と「貸与奨学金案内」38ページを併せて確認しながら記入

4. 上限は71万円です（合計金額から1万円未満切り上げ）。単身赴任先の住居・光熱・水道・家具・家事用品の領収書のコピーを学校に提出してください。

5. 該当者がいる場合は、医療費等の領収書のコピーを学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。



⑦ ★◆スカラネット入力下書き用紙 15 ページ目

L-家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。
(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください)

注) 主に生計を維持する人が無職(失職)の場合には、その無職(失職)となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

(20×10)

記入した作文は、ワード等で保存しておくと、スカラネット入力時にスムーズです。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

書のコピーを学校に提出してください(合計金額から1万円未満切り上げ)。

6. 被害を受けたことを証明する書類のほか、支出の増加額、または収入の減少額の算出の基となる書類を学校に提出してください(合計金額から1万円未満切り上げ)。

7. プルダウンリストから該当の災害を選択してください。

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。



